

令和元年度  
**事業報告書**

社会福祉法人  
**市川町社会福祉協議会**



# 社会福祉法人 市川町社会福祉協議会

## 令和元年度 事業報告

### 法人運営事業

#### 法人運営事業

##### 評議員会、理事会の開催

評議員会、理事会を開催しました。

評議員会の開催 2回開催（うち1回は書面決議）

6月28日

- ・平成30年度市川町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計決算について
- ・理事及び監事の選任について

3月（コロナ禍により書面決議）

- ・令和元年度市川町社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について
- ・令和2年度市川町社会福祉協議会事業計画(案)並びに一般会計予算(案)について

理事会の開催 4回開催（うち1回は書面決議）

6月14日

- ・平成30年度市川町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計決算について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・理事及び監事の選任に係る評議員会への推薦について
- ・評議員会の日時、場所及び議案について

6月28日

- ・会長及び副会長の選任について
- ・評議員候補者の推薦について

2月28日

- ・令和元年度市川町社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について
- ・地域福祉推進計画について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・評議員会の日時、場所および議案について

3月（コロナ禍により書面決議）

- ・令和2年度市川町社会福祉協議会事業計画（案）並びに一般会計予算（案）について
- ・評議員会の議案並びに決議の省略について

### 評議員選任・解任委員会の開催

理事会から推薦された評議員候補者について、評議員選任・解任委員会で審議、選任いたしました。

2 回開催

6 月 14 日 3 月 10 日

### 社協会費の納入

社協の貴重な自主財源である社協会費の納入を町民の皆さんに依頼しました。会費の使途を広く周知することで、皆さん一人一人が社協活動に関心を深めていただくと共に、財政面から会費という形で社協活動に参加していただきました。

・社協会費（10 月）1,768,500 円

### 各福祉団体の事務（老人クラブ、身体障害者福祉会、婦人共励会、手をつなぐ育成会）

各種福祉団体の事務を行い、会員間の情報の共有や親睦、福祉制度等の研修や関係団体への働きかけ等、福祉の充実に向けて取り組みました。



### ホームページでの広報

行事案内や募集記事、活動の報告等を掲載し、社協活動に関する情報を発信し、町民の皆さんに活動への理解と参加を促しました。

### 地域福祉推進計画の評価と策定

地域福祉推進計画とは、地域の生活福祉課題を住民主体の立場から課題解決をめざすための長期計画です。本会では策定委員会での協議のもと、令和 2 年度からの 5 カ年計画の策定に取り組みました。

### 社会福祉充実財産の再投下

社会福祉充実計画に基づいて、社会福祉充実財産を再投下しました。

- ・介護職員の処遇の改善
- ・介護サービスに使用する車両の購入
- ・災害発生時対応できる備品の購入（テント、発電機）
- ・福祉サービス利用に係る利用者負担金の減

# 共同募金配分金事業

## 共同募金配分金事業

### 共同募金運動の推進

赤い羽根共同募金運動（10月～12月）、歳末たすけあい募金運動（12月）を各区長様のご協力のもと推進し、募金の使途を広く周知することで運動の理解を促しました。また、町内中学校に協力を要請し、街頭募金活動、広報活動を展開いたしました。



- ・赤い羽根共同募金 1,986,677 円
- ・歳末たすけあい募金 2,383,201 円

### 福祉活動への助成

募金による配分金で、サロン活動、福祉団体の活動、ボランティア活動、学校の福祉学習活動を支援し、財政面からサポートしました。

- ・ふれあいサロンへの活動助成 28 区 38 会場
- ・福祉団体への活動助成 5 団体
- ・ボランティアグループへの活動助成 13 団体
- ・学校での福祉学習への活動助成 7 校



ふれあいサロン助成金給付会場数

No.	区名	会場数	No.	区名	会場数
1	西川辺	2	15	近平	1
2	川辺新町	1	16	小谷	1
3	浅野	1	17	千原	1
4	小畑	4	18	谷	1
5	東川辺	1	19	奥	1
6	西田中	1	20	坂戸	1
7	北田中	1	21	県住	1
8	上田中	1	22	澤	1
9	保喜	1	23	美佐	2
10	下瀬加	1	24	鶴居	1
11	上瀬加	1	25	神崎	1
12	下牛尾	3	26	田中	1
13	上牛尾	4	27	小室	1
14	甘地	1	28	屋形	1
			合 計		38

## 社協広報誌等の発行

社協広報誌等を発行し、全戸配布しました。

- ・市川町広報に情報提供 毎月1回
- ・「福祉いちかわ」の発行と配布 年6回
- ・高齢者番付表の発行と配布 9月に発行



## 歳末見舞金配布

在宅の重度身体障害者（1・2級）、知的障害者（在宅の手をつなぐ育成会員）、生活保護世帯、準要保護児童・生徒等の方を対象に、民生委員さんを通じて、歳末見舞金を配布しました。

- ・対象者 313名 1,527,000円

### 歳末見舞金配布内

配布区分	人数
生活保護者	30
重度身体障害者	179
知的障害者	33
準要保護生徒・児童	69
介護用品支給事業対象者	2
合 計	313

## サマースクールの実施

町内の小学生4・5・6年生を対象に夏休み期間中に福祉体験学習を開催しました。

- ・8月19日 北淡震災記念公園  
内容 阪神・淡路大震災の体験談と起震装置による地震体験  
参加者 29名



## 体験講座の実施

ものづくりやレクリエーション等の体験講座を開催し、地域や世代間の交流を促進しました。

- ・1月31日 保健福祉センターにて  
ふれあいの会レクリエーション講座  
講師 夢こらぼ  
主宰 松尾弥生氏  
参加者 54名
- ・12月21日 保健福祉センターにて  
内容 しめ飾りづくり講座  
講師 原田豊氏 村田美智子氏  
参加者 17名





# 善意銀行運営事業

## 善意銀行運営事業

### 善意銀行の事務

町民の皆さんからの善意の預託を受け付けました。また、預託いただいた金品を活用し、町の福祉向上をすすめました。

・善意の預託 のべ 38 件 594,548 円

### 善意の日募金運動の推進

兵庫県では、6月1日を「善意の日」と定め、福祉活動が展開されており、市川町社協においても各区長さんにご協力いただき善意の日募金を推進しました。また、募金の使途を広く周知することで運動への理解を促しました。

・善意の日募金 1,042,400 円

# ボランティアセンター運営事業

## ボランティアセンター運営事業

### ボランティア人材の発掘

ボランティア活動を広報し、人材の募集、発掘を行いました。

### 学校での福祉学習の推進

学校での福祉学習について、講師の紹介や職員の派遣、物品の貸出等の支援を行いました。

福祉学習への支援

支援内容	回数	内訳
講師紹介	6	手話体験 2 点字体験 4
職員派遣	8	車いす体験 3 アイマスク体験 4 高齢者体験 1
学校への備品貸出	14	車いす 5 点字板 4 アイマスク 4 体験用装具 1



## ボランティア連絡協議会の事務

町内のボランティアグループ間の交流を図り、さらに有意義な活動をしていただけるよう支援しました。

- ・代表者会議の開催 2回
- ・清掃活動（甘地駅～役場周辺道路）  
4月22日 16名
- ・マラソン大会での湯茶接待の実施  
2月16日 3名
- ・各種福祉行事への参加 6回 のべ57名
- ・ボランティア共済、県民ボランタリー活動助成の事務手続き



## ボランティア連絡協議会登録グループ

No.	グループ名	活動内容
1	手話サークルやまびこ	手話通訳、聴覚障害者支援、啓発活動
2	あじさい	給食サービスでの調理
3	とき	福祉施設での作業手伝い
4	リズムダンス・スイートピー	ふれあいサロン、福祉施設でのダンス指導
5	どんぐり	福祉施設でのお手伝い
6	みち	独居高齢者宅、福祉施設への訪問
7	市川町ゲートボール協会	福祉施設でのゲートボール指導、給食配達
8	きさらぎ	福祉施設での喫茶サービス
9	コスモス	ふれあいサロン、福祉施設でのお手伝い
10	やまあじさい	保育園、小学校での本の読み聞かせ
11	わかば	福祉施設への訪問とお手伝い
12	えんどう豆	保育園、福祉施設での銭太鼓等の披露
13	ふくろう	給食サービスでの配達
14	J A女性会ジャズ体操教室	福祉施設への訪問、踊りの披露

## 災害ボランティアに関する取り組み

災害時のボランティア活動についての研修会を開催し、人材の発掘と意識の高揚に取り組みました。

- ・2月26日 保健福祉センターにて  
内容 地域と連携した災害ボランティアセンターの運営  
講師 被災地NGO協働センター 代表 頼政 良太 氏  
参加者 36名





# 地域福祉事業

## 心配ごと相談所事業

毎週金曜日午後 1 時～3 時、市川町役場前の就業改善センターで様々な心配ごとを受け付ける相談所を開設しました。町内の民生委員さん、人権擁護委員さん、行政相談員さん、社会教育委員さんに相談員としてご協力いただきました。また年に 3 回総合相談を行政との共催で開催し、その際には弁護士さんへの相談も受け付けました。

- ・心配ごと相談（毎週金曜日 3 月はコロナ禍のため休止）  
44 回開催（うち 3 回は総合相談に参加）  
のべ相談件数 17 件

## 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金とは、低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯などで一時的に生活に困窮している世帯に対し、必要な費用の一部の貸付を行う制度です。社協では貸付窓口を開設し、行政やワーカーズコープ（労働者協同組合）と連携をとりながら相談支援を行いました。

また、3 月 25 日より新型コロナウイルス特例貸付の受付を開始し、相談者の支援にあたりました。

	相談世帯数	貸付世帯数
通常貸付	10	1
コロナ貸付	4	3

## 母子金庫運営事業

母子世帯の生活の安定と社会参加を図ることを目的とした資金貸付窓口を開設いたしました。

- ・貸付件数 0 件 相談件数 0 件

## 準保護支援事業

### 夏季見舞金配布

在宅の重度身体障害者（1・2 級）、知的障害者（在宅の手をつなぐ育成会員）、生活保護世帯、準要保護児童・生徒等の方を対象に民生委員さんを通じて夏季見舞金を配布しました。

- ・対象者 316 人 1,022,000 円

### 夏季見舞金配布内訳

配布区分	人数
生活保護者	30
重度身体障害者	183
知的障害者	33
準要保護生徒・児童	68
介護用品支給事業対象者	2
合 計	316

## 善意の福祉機器貸出事業

介助が必要な方に福祉機器（車いす、介護用ベッド）を無料で貸し出しました。ただし、介護保険の福祉用具レンタルの制度が利用できる方（介護度 2・3・4・5 の方）は介護保険を優先して利用していただいております。

また、ひとり暮らしに不安のある高齢者を対象とした緊急信号発信装置の貸出について、申請を受け付けました。装置のボタンを押すと、あらかじめ登録された複数の電話（身内の方や、ご近所の方）に緊急信号が発信されます。貸出は無料ですが、屋内の配線を行う場合やリモコンなどを利用される場合は、5,000 円～15,000 円程度の実費負担となります。

福祉機器の貸出状況

機器	長期	短期
車いす	14	63
歩行器	1	1
電動ベッド	6	0
松葉杖	1	1
安心コール	0	0



## 福祉車両貸出事業

介助が必要な方に車いす対応型福祉車両を無料で貸し出しました。

対象者 車いすを使用しなければ外出が困難な市川町在住の方

車両の種類 車いす対応福祉車両（軽自動車）

利用料金 無料（ただし、走行距離に応じてガソリンを補給）

・貸出回数 94 回 実利用者数 22 名



## 福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安のある方が地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用に関する手続きや苦情の申し立て、公共料金の支払い等の日常的な金銭管理について相談支援を行いました。

・契約件数 2 件 のべ活動回数 24 回

## 給食サービス運営事業

ひとり暮らし、高齢者のみの世帯で自炊が難しい方に、安否の確認の意味もこめて月に3回お弁当（1食300円）を配達しました。調理はボランティアさんに、配達には民生委員さん、ボランティアさんにご協力いただき、味や栄養、衛生面を考えた事業運営に努めました。



24回実施（7, 8, 9月は食中毒予防のため、3月はコロナ禍のため休止）  
1998食（うち生活保護世帯84食）

給食配布のべ個数

区名	個数	区名	個数	区名	個数	区名	個数
西川辺	109	下瀬加1	43	甘地	56	澤	84
西川辺南	0	下瀬加2	87	甘地南	42	美佐1	50
西川辺東	21	上瀬加1	0	近平	0	美佐2	27
浅野	94	上瀬加2	155	小谷	0	鶴居	167
小畑	163	下牛尾1	186	千原	45	神崎	163
東川辺	102	下牛尾2	72	谷	0	田中	5
西田中	72	上牛尾1	47	奥	27	小室	0
北田中	26	上牛尾2	21	坂戸	1	屋形	48
上田中	85						
保喜	0						
合計	672	合計	611	合計	171	合計	544
合計	1998						

## 介護予防事業

認知症予防に効果のある学習療法の教室を毎週火曜日に開催し、学習の習慣化を図りました。毎週の集まりが仲間づくりや交流の場となっております。さらに受講者とその学習を支援するサポーターさんを増やし、安定した教室の開催を図ります。

- ・開催回数 41回（4月～2月まで開催。3月はコロナ禍のため休止）
- ・のべ受講者数 599名 実受講者数 23名 サポーター数 7名



教室

①

いろはがかるた  
いろはがかるたを少し大さめの声で音読しよう。  
□に漢字を書きましょう。

い  
犬も歩けば棒にあたる

ろ  
論より証拠

は  
花よりだんご

に  
憎まれっ子世にはばかる

も歩けば棒にあたる

よりだんご

名前

月 日 時 分 秒

KUMON

# 町受託事業

## 福祉タクシー事業

身体障害者手帳 1・2 級、および療育手帳 A 判定の方に福祉タクシー券（初乗り券）を発行しました。事業の契約を結んでいる近隣のタクシー会社で利用でき、1 人あたり年間最大 48 枚の利用ができます。

- ・実利用者数 26 名 434 枚の利用

## 家族介護用品支給事業

住民税非課税世帯の介護度 4・5 の高齢者の方に介護用品を支給しました。

- ・実利用者数 4 名

## 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

住民税非課税世帯の介護度 4・5 の高齢者の方を対象とした寝具の洗濯を実施しました。

- ・実利用者数 2 名

## 外出支援サービス事業

高齢者のみの世帯や、独居の身体障害者 1・2 級で、公共交通機関の利用が困難な方を福祉車両で自宅から病院まで送迎しました。利用料は町内の往復 500 円、神河町、福崎町への往復 600 円です。

- ・実利用者数 57 名
- ・のべ利用回数 1136 回送迎  
（うち生活保護世帯 192 回）  
町内への送迎 460 回  
（うち生活保護世帯 91 回）  
町外への送迎 676 回  
（うち生活保護世帯 101 回）



地区ごとの利用者数

地区名	利用者数
川辺	14
瀬加	5
甘地	15
鶴居	23
合計	57

## 身障訪問入浴事業

自宅の浴槽での入浴が困難な身体障害者の方を対象に、訪問入浴車で入浴サービスを行いました。

- ・のべ訪問回数 102 回



# 地域支え合い推進事業

介護保険制度だけでは対処できないさまざまな暮らしの課題について、地域で自発的に取り組んでいただける体制づくりを支援しました。具体的には、ふれあいサロンへの訪問や用具貸出、連絡調整、福祉座談会での啓発等を行い、地域ぐるみの自主的な支え合い活動の活性化を図りました。

## サロン活動への支援

町内各区で行われているサロン活動を支援しました。職員の派遣や、用具の貸出、バスの配車などを行いました。

- ・ 職員の派遣 17 回
- ・ レクリエーション用具の貸出 56 回
- ・ 外出時のバスの配車 43 回

令和元年度ふれあいサロン 実施回数とのべ参加人数

区名	回数	人数	区名	回数	人数	区名	回数	人数	区名	回数	人数
西川辺	16	230	下瀬加	10	233	甘地	11	231	澤	9	190
西川辺南	12	214	上瀬加	11	522	近平	11	168	美佐東	10	118
川辺新町	12	99	下岡	10	180	小谷	11	201	美佐西	8	107
浅野	8	216	市場	12	156	千原	11	208	鶴居	11	298
西小畑	10	102	河内	10	212	谷	9	246	神崎	11	433
東小畑	48	398	岩戸	15	675	奥	61	1116	田中	8	120
南小畑	11	175	半瀬	11	192	坂戸	14	453	小室	9	310
小畑御舟	11	133	塩谷	10	163	県住	8	73	屋形	8	300
東川辺	11	207	寺家	10	148						
西田中	15	199									
北田中	10	153									
上田中	10	270									
保喜	9	297									
地区合計	183	2693	地区合計	99	2481	地区合計	136	2696	地区合計	74	1876
									総合計	492	9746



## 介護保険等事業

### 居宅介護支援事業

介護保険サービスを利用するための計画（ケアプラン）を作成しました。利用者の思いを聞きながら、その人の身体状況や周囲の環境に合わせた最適な計画を作成し、サービスを円滑に利用できるよう関係機関との連絡調整を行いました。また、近隣の方々にもご協力いただき、地域ぐるみの支援を行いました。

・のべ計画作成数 650 件

### 訪問介護事業

要支援・要介護の高齢者の方が、可能な限り自立した生活を送ることができるよう、訪問介護員が家庭を訪問して、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）を行いました。

・のべ訪問回数 7,078 回

### 訪問入浴介護事業

自宅での入浴が困難な要介護の高齢者を対象に、訪問入浴車での入浴サービスを行いました。具体的には、自宅のベッドのそばに浴槽を運び、車内のボイラーで温めたお湯を使って入浴介護を行いました。

・のべ訪問回数 549 回

## 障害者福祉サービス事業

### 障害者相談支援事業

障害（身体・知的・精神）のある方の、仕事や生活、将来等様々な相談に応じ、その上でご本人の心身の状況、周囲の環境等に合わせて、福祉サービス利用計画を作成しました。また、サービスを円滑に利用できるように、関係機関との連絡調整を行い、利用者のニーズをこまめに聴き取りました。

・のべ計画作成数 67 件

### 障害者訪問介護事業

介護が必要な障害（身体・知的・精神）のある方の生活を支えるため、訪問介護員が家庭を訪問し、食事介助、排泄介助、入浴介助、更衣介助、整容、身体の清拭等の身体介護と、掃除、ゴミ出し、洗濯、買い物等の生活援助を行いました。

・のべ訪問回数 1,216 回